

全国展開の強みを生かし 公共文化施設のソフト運営まで担う

公共文化施設の管理運営を行うケイミックスパブリックビジネスは、全国展開の強みを生かし、施設の管理などハード面だけでなく、公演やイベントなどソフト面の運営まで手掛けている。同社の取り組みを紹介する。

出張公演や住民参加型など 年700以上の文化事業を実施

ケイミックスパブリックビジネスは、大型ビルや高速道路、公園など様々な社会インフラを管理するケイミックスの文化施設管理運営部門を分社化して設立された、公共文化施設専門の管理運営会社だ。ケイミックスパブリックビジネスの設立は2017年だが、文化施設の管理運営事業そのものは2005年から続いている。2018年度の売上高はおよそ50億円を計上し、従業員数は約500名、2019年3月時点で全国59の施設を運営している。

同社の特徴は、文化施設の維持管理などハード面だけでなく、公演やイベントなどソフトの運営まで担う点だ。



ケイミックスパブリックビジネス
代表取締役社長
橋本鉄司氏

ホールを使った鑑賞型公演や、カルチャースクール、学校や福祉施設への出張公演、大規模なフェスティバル、住民参加型の映画製作など、手掛けるコンテンツは多岐にわたる。2018年は、年間で700件以上の文化事業を実施した。

同社代表取締役社長の橋本鉄司氏は、「ソフト面の運営も、分社化前のケイミックスで文化施設管理運営部門が設立された当初から行っている。日

本には優れた公共文化施設が数多くある一方、自治体の資金不足などにより文化事業の実施にまで手が回らないケースは多い。民間ならではのノウハウを生かし、限られた資金を有効活用することで、地域文化の振興や住民福祉の増進を実現するのが当社の使命だ」と力をこめる。

例えば同社が運営する埼玉県久喜市の「久喜総合文化会館」では毎年、「市民参加型第九演奏会」を開催している。市民から参加者を募って行う合唱祭で、10年以上続く年末の恒例行事だ。ほかにも埼玉県三芳町の「三芳町文化会館」では、住民参加型の短編映画製作なども行っており、出演、監督、撮影から脚本までのほぼ全行程を地域住民が手作りしている。着手から上映ま



埼玉県久喜市の「久喜総合文化会館」では毎年、「市民参加型第九演奏会」を開催

で半年～1年を要する、大掛かりなプロジェクトだ。
現場を知る同社取締役事業部部長の田中大輔氏は、「大勢の人をまとめる難しさはあるが、地域の親交が深まり、また次も参加したいという声もよく上がる。住民からの反響も大きい事業だ」と語る。

文化施設での公演やイベントには採算にのせるのが難しいケースも多く、とくに営利を追求せざるを得ない民間管理者には負担になりやすい。「施設の管理運営全体では当然黒字を確保するが、地域に欠かれない活動やイベントの多くは採算が取れず赤字となる。

これらは文字通り、欠かせないものであつて、営利企業でありながら地域のために必要な出費にはコミットしていくのが当社の特色だ」（橋本氏）

規模の経済を生かしつつ セミオーダーの運営形態を実現

同社の文化施設管理運営におけるソ



ケイミックスパブリックビジネス
取締役 事業部 部長
田中大輔氏

フトコンテンツの提供を支えるのが、全国展開の規模を生かしたバイイングパワーだ。複数の施設で公演をまとめ買いすることで単に費用を抑えられるだけでなく、通常では誘致しにくい地域の施設にもツアーコンサートなどを呼び込める場合もある。

また、多くの類似施設を運営してきた歴史があるため、先行事例の蓄積が社内にある点も強みだ。ケイミックスパブリックビジネスでは、全国の運営施設から館長が集まる「館長会議」を年数回定期的に開催している。業務の報告、成功事例の共有はもちろん、直面している課題に対するアドバイスの

募集なども行う定例会議だ。

「現場同士の情報共有により解決する課題も多く、社内データベースの充実は規模の経済による恩恵の一つだ。公演の売上を予測したり、広報に使用するメディアの実績を調べることもできる」（田中氏）。他にも、近隣の施設同士で互いの公演のチラシを配付し合ったり、費用を折半して共同で新聞広告を出したりするなど、社内ネットワークを生かした相互協力の例は多い。

一方、大規模な企業に管理運営を任せることで、定型フォーマットの画一的な施設になってしまわないかと

いう不安の声もある。橋本氏は、「公共文化施設は地域のランドマークであり、住民にとってはオンリーワンの存在だ。規模のメリットを生かしつつ、施設に合った運営形態をセミオーダーで実現することには常に心を砕いている」と自負する。

ケイミックスパブリックビジネスのロゴ中央には、劇場をイメージした3つの座席が描かれている。「当社の管理運営事業が、自治体、地域住民、当社自身の三者全員にとってプラスの影響をもたらし、並んで観劇をするような良好な関係を築くことが目標だ」（橋本氏）。



脚本から出演、監督、撮影までのほぼ全行程を地域の住民が手作りする「住民参加型映画製作」



ケイミックスパブリックビジネスが2010年から管理する
栃木県佐野市の「佐野市文化会館」



公設民営形態で管理する「アルモニーク北九州ソレイユホール」

お問い合わせ



株式会社ケイミックスパブリックビジネス

〒101-0052
東京都千代田区神田小川町1-2 風雲堂ビル4階
TEL: 03-5289-3570
URL: <https://www.kpb.co.jp/>